

若者の人生が “ぶっ壊” されている..!

「2007TOKYO 若者実態調査」の結果（中間報告）

小泉「改革」に象徴された、「自民党をぶっ壊す」というスローガンのもとに、自公政台がすすめてきた「構造改革」路線。「痛みを耐えれば明日がある」——本当だったでしょうか？

「ワーキングプア」「ネットカフェ難民」など、若者の雇用と生活破壊が、マスコミでも報じられています。こうした状況のもとで、私たちは「2007TOKYO 若者実態調査」に取り組んできました。これは、若者の働き方はもちろん、いまの暮らし、健康、子育てなど将来の見通し——若者の全体像をとらえ、これにもとづいて、若者が現在の暮らしにも将来にも希望がもてる日本をつくる政策づくりをすすめようとすすめてきたものです。

日本共産党東京都議団 田村ともこ事務所
民青同盟東京都委員会 日本共産党と一緒に日本を変えるネットワーク TOKYO
●お問い合わせ先 03-3370-0494（日本共産党東京都委員会）

【実態調査の方法】

- 実態調査回収数 859 枚
- 調査時期。2007年3月～12月に実施。
- 調査方法。実態調査用紙に記入してもらう方法。
- 調査用紙の配布方法。アンケート用紙を東京都内各所の街頭で配布、アパートに投函。ホームページで用紙を公開。また、街頭などで記入してもらった場合もありました。
- 調査用紙の回収方法。郵送で返信されて回収、街頭などへの直接聞き取りなどで回収、ホームページに公開した調査用紙に記入され回収のいずれかにて。

【調査対象】 以下のような方から、実態調査の回答がよせられました。

- 住まい——都内 591 人（23区 380 人、市部 211 人）、都外 62 人、無回答 206 人
- 勤務先——都内 574 人（23区 449 人、市部 125 人）、都外 40 人、無回答 245 人
- 性別——男性 369 人、女性 333 人、無回答 157 人
- 年齢——10代 43 人、20代 481 人、30代 215 人、40代以上 59 人、無回答 61 人
- 雇用形態——正規+自営業=385（44.8%）、それ以外（無回答除）422 人（49.1%）
※内訳（正社員 371 人、自営業 14 人、契約社員 53、派遣社員 63 人、請負社員 1 人、偽装請負 3 人、アルバイト 213 人、就職活動中 24 人、失業中 27 人、その他（主婦、委託販売、歩合制、嘱託、ボランティア、学生など）38 人、無回答 55 人

2008年1月発行

「こんな職場、どーにかしてっ！」

—実名で、告発されている会社です。

大手コンピューターA社

残業代もほとんど出ず、子会社出向、地方転勤させられた。

大手コンタクトレンズメーカーB社

・社保も有給ありません。社員にはあるのに。今月12日しか仕事なかった。辛かった。(26才男、バイト)

大手電機メーカー子会社C社

・残業割り増し代が出ていない。(女性)

大手芸能子会社D社

・とにかく休めません。社会人3年半ですが、有休をとったことはなく、代休のほとんどは消化できずに消えてゆきます。これでも休んでいるほうです。また、社内で内勤している人外勤している日の多い少ないによっては(一月丸丸外勤という月もあり)労働時間の割に合わないんじゃないか…。と思う月もあります。(25才男)

大手自動車販売メーカーE社

・残業代を出さないために、営業日報から帰社時間を書く欄がなくなった。午後6時に帰社したら(定時は午後6時)こんなに早く帰ってくるなど言われた。(24才女、営業)

大手コンビニチェーンF社

・店内に一人にされることがある。(上司が外出する)。①自分で計算したお金より少ない(たぶん残業代が出ていない)。一度店長に話して少なかった分入れてもらったが、またしばらくすると入っていない、②有休はとったことない。バイトで取れると知りませんでした。③社会保険には入っていない。(27才女、バイト)

大手保険会社G社

・有休があるのに使うなとか、学歴で色々言われた。定時で帰宅したいのに、やれ!とかいわれて残業代でないのに仕事…給料も8万になったり。(26才女、保険外交員)

大手タクシー会社H社

・交通費は名目上支給されているが、実際は租税が効からなくなる操作がされているのみで支給されてない。賃金の一部が交通費名目で支給されることで非課税扱いとなっているだけ。1日11時間、週60時間拘束される。(37才)

大手エレベーターI社

・仕事の量に対して従業員が足りていない。だから有休が取れない。基本給が労働条件に対して安いので、残業しないと生活できない。残業した時間は自己申告だが会社にいた時間をそのまま申告するとチェックが入る。(30才、エレベーター保守)

大手私鉄J社

・人手不足で月100時間まで残業できるようにかわった(23才)

大手パンメーカーK社

・バイトは正社員を雇うため、働いているようなもの。バイトとして働いていたが、タイムカードを本人の了解なしに、平気で正社員に改ざんされた。”朝から夕方ちかくまで、働いたときは、正社員は昼食(まかない)が出るのに、バイトには出ない。その時の気分しだい。働く環境ワルシ。(26才男、飲食店、バイト)

大手電力会社の子会社L社

・派遣社員だから仕方ない?らしいが、有休が10日間しかもらえなくて不満。派遣社員でも「子どもがいる・いない」「母子家庭」「既婚か未婚か」で有休数を変えるべきだと思う。派遣社員も社員と同じくらい有休を与えるべきだと思う(32才女、派遣社員)

M社

ここの会社は給料も延びのびですし、突然10数名解雇になったり、問題が発生するたび労働基準局に電話していました。又、会社名をころころ変えている会社です。

N社

昨年社長より強い口調で業務命令だと言って民間アパートを強制的に(しかも家財道具、ガスレンジ、電子レンジ、冷蔵庫2台、ステレオ、本、ビデオ、テレビを強制処分。保証なしで)出され、企業方針の営業所(くにたち営業所)で働き賃貸料35000円を支払っています。ガス使用禁止。

O社

サービス残業の実態、給与システムを調査してください。大卒でも、30代に入っても結婚して家庭生活を営めない。

P社

正社員とは口だけで、実際は国民健康保険に自分で加入している。年金、保険料を含め、年棒600万円給50万。果たして正社員か?さらに雇用保険もない。

Q社

・サービス残業を月50時間やらされて、残業代を要求すると、「俺はやくぎを知っているんだぞ」と脅され、ほとんどもらえない。この前も先輩が自殺したが、会社は何も責任を取りません。このままでは自分も…上司は元山口組系の人といううわさもあるので怖い。(27才、事務)

R社

・上司の人間関係的は好嫌で差別がある。リストラされた友人をかばったが為、いくらがんばっても認めてくれず、昇格もできない。実績を上げてても労いの言葉一つない。アパート経営では、ローンがあり、今年から定率減税が廃止されるのが非常に痛手です。(45才男、サービス業)

S社

・パワハラでうつ病になった。何とか仕事に復帰したものの、仕事を全く与えられない。(29才男、SE)

T社

・請求したが、残業代が出ない(女、アパレル)

U社

・トイレに行くにも本部に連絡しないとイケない。メール等を少し確認したりする場合は時給ダウン。仕事中監視されている。時給700円の方もいる。(23才男、バイト)

V 幼稚園

・働く時間の割りに安月給。やること多いから結婚したら辞めなくてはならない。タイムカードがなく、残業時間に関わらず1万円しか出ないのは不満。(22才幼稚園教諭)

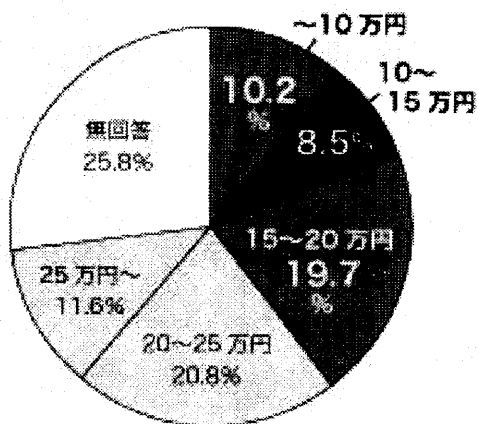
こんなじゃ、働いていけない！！

若者実態調査【雇用編①】

給料が安すぎる！！暮らしていけない・・

- ・とにかく給料が安い。生活できない(26才男、バイト)
- ・10年間勤務しているが、基本給が上がらないため貯蓄はできない。ボーナスはほとんどない(43才、運送業)
- ・給与が低く、一人暮らしができない。ボーナスももらえないが、1月分ももらえず、苦しい。(28才、会社員)
- ・給料が少なく、週一回の休日で働いている。基本給の底上げと週2回の休日を強く望んでいる。(29才男、販売)
- ・非常勤とアルバイトのかけ持ちをしているが、手取りはぎりぎり。それが辛い。塾講師は、授業時間しかアルバイト代が出ないため、予習しても、ただ働き。有給休暇はあるが、とりづらい。(女性、小学校非常勤講師・塾講師)
- ・このまま給料が上がらないと将来が不安。(32才男)
- ・時給900円に納得がいかない。低すぎる。仕事とつりあっていない。税金も年金も払っていないのに食事を制限しないとやってけない。余暇を楽しむ金もない(派遣社員)
- ・給料が安いのが不満&不安です(22才女、バイト)
- ・完全出来高制なので(1枚200円、1日平均で15枚ぐらい)収入が安定せず、低い。時間は短くても、昼12時から夜12時、徹夜は普通。2日ぐらい帰らないときもある。(女性、アニメーター、契約社員)
- ・結婚無理? 将来不安。給料安いので(30才男、契約)
- ・ボーナスがない(29才男、事務)

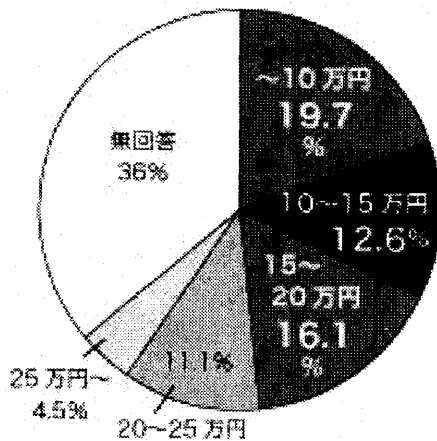
約40%が月収20万円以下



非正規の2人に1人が月収20万円以下

3人に1人が生活保護水準以下

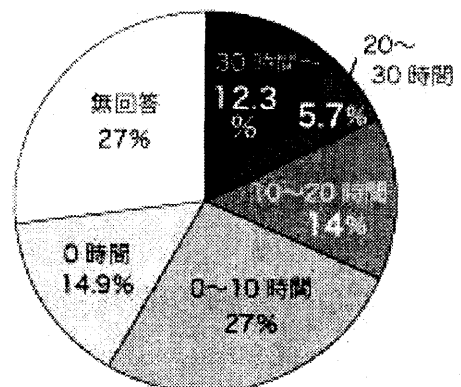
※非正規の回答のみ集計



「家に帰る暇なく、ネットカフェ暮らし」

- ・朝8:30~10:30まで働いていて、帰る時間ももたないからネットカフェに泊まっている(26才男、飲食店)
- ・運転中居眠り運転をする(男性、バイク便、契約社員)
- ・10時間労働でも、休憩が10分ももらえないときがありました。さすがに辛いです。(21才女、学生、バイト)

3人に1人が週10時間(月40時間)以上残業



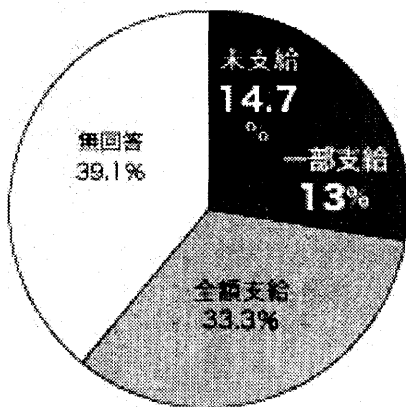
「人員不足で忙しい」「休みがとれない」

- ・職場に人が少ない。正社員ですが、給料、ボーナスは安い。ボーナスはかえって下がっていくし、人手不足で仕事が密になっています。勤続7年、なのに会社に後輩がいません。これからどうなるんだろう…という不安がいつぱい。派遣ではなく正社員を入れてほしい。仕事はあっても、住むところはあっても、貧乏です。働けど働けど楽になる気配も見えません。(33才女、事務)
- ・人員不足のため休日が取れないときがある(26才販売)
- ・人がいないため、休日がまともに取れない。サービス残業して、何とか店が回っている状況(30才、サービス業)
- ・8人くらいの従業員で各々担当の仕事があり、休むと支障が起るため、有休がとりにくい。結婚して子どもができて後仕事が続けられるか不安。(31才女、商社)

「月100時間残業しても残業代ゼロ」

- ・多いときは100時間残業しても残業代出ません(営業)
- ・月200時間残業。上司が休日に電話してきて、「こんなに働いてないだろ」と勝手に減給された。
- ・本当残業代が出たらなあ(21才男、WEBデザイナー)

4人に1人がちゃんと 残業代もらえていない



失業の不安

- ・転職して2年目、会社の業績悪化で上司や同僚も次々に辞めていき、がんばって残った自分は“肩たたき”。2ヵ月後には職を失ってしまうので求職中。(32才男)
- ・定年後も働いていけるか不安(46才、契約社員)

「セクハラ、パワハラ当たり前！」

- ・終電を逃すほど、働く日がある。セクハラ・パワハラ発言は常識。相談窓口ができたが、そこに相談すると、話が広まるので、誰も相談できない。(29才女)

非正規はツライよ！

若者実態調査【雇用編②】

「正社員になりたくても、なれない！」

- ・正社員の募集が少ない。ほとんどない。経験者優遇、と言われても経験なんかあるわけない。受けても、その都度落ちて自信がなくなってしまう。正社員はあきらめて、パートで働いている。(26才男、製本業、バイト)
- ・正社員として働きたいが、就職先が見つからない。(年齢や学歴、母子家庭であることなど)。(29才女、バイト)

社会保険に入れてもらえない

- ・歩合制。厚生年金に入れないことが、不満。美容師の業界では国民年金が当たり前。(36才女、美容師)
- ・正社員扱いでも社会保険が出ない(医療関係)
- ・仕事がある時期とない時期があるため社保に入れない。(20才女、検診助手、派遣社員)

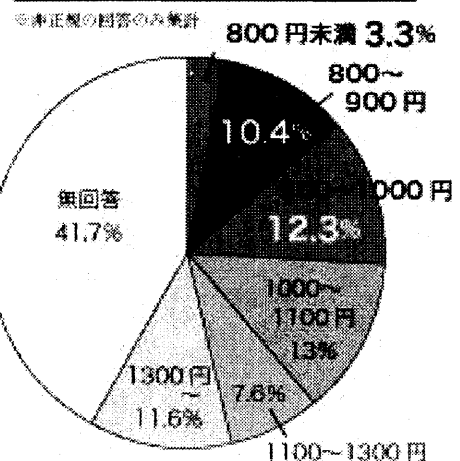
派遣など非正規雇用への差別、女性差別

- ・交通費が一日250円しか出ない。(45才男、バイト)
- ・女というだけで正社員になれない(27才女、契約社員)
- ・仕事の内容はほとんど同じでも給料、賞与などで正社員とかなり差が出る。派遣もとの社員ですが、これから何年勤めても社員にはなれないといわれた(33才男、製造業)

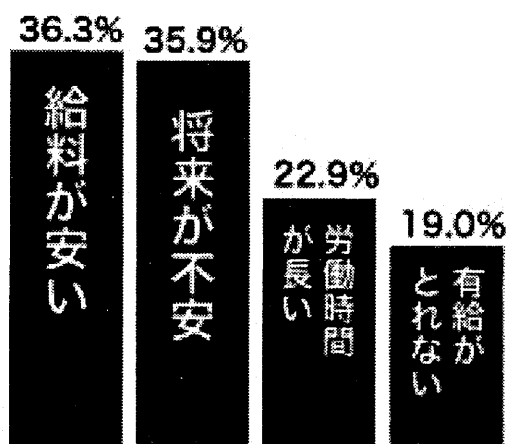
偽装請負の実態

- ・業務委託という、契約上「雇用」ではないので残業代は支給されません。しかし、時間の束縛や毎年契約をしなければならず、毎日不安。(26才女、デザイナー、偽装請負)

非正規の4人に1人が 時給1000円以下

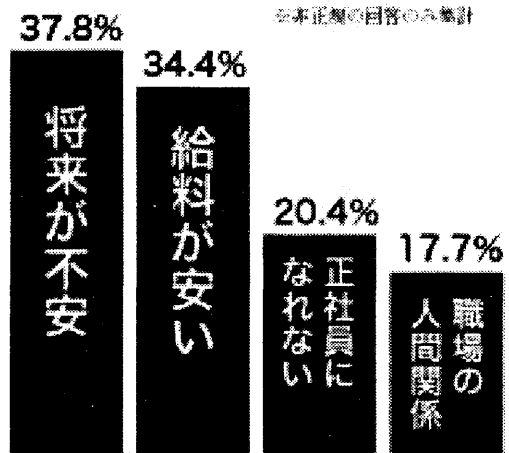


3人に1人が 「給料が安い」「将来不安」



「仕事や就職活動で困っていること」のうち、最も多い回答上位4つ（複数回答）

非正規では「正社員になれない」の不満も大きい



これじゃ、いい医療・福祉できない！

若者実態調査【雇用編③】

<医療関係>

- ・以前勤めていた病院ですが、新人は1年以上残業代がもらえない決まりがありました。定時8:30~17:30(日勤)ですが、23:00頃まで働き、翌日は7:30までに出勤でした。給料は10~13万円でした。3ヶ月働いて身がもたず、不信感を持ったため、退職届を出しましたが、100Sが足りないからと受理されず、退職届の用紙を病院で指定されたものでなければならぬと言われ、同期は深夜をしている中退職を希望しているから指導はしないと言われ、退職するまでの3ヶ月間、日勤のみ、休日もTELで呼び出されました。(女性、看護師)
- ・医師が少なすぎる(52才男、医師)
- ・医療費の抑制で病院の経営が悪化傾向にある(30才)

<保育関係>

- ・今、市立の保育園の嘱託として勤務しています。正規を削減していつている為、なかなか公務員として働けない状態です。正規として勤務したいのですが(23才、保育士)
- ・今は臨時職員ということで時給制なので仕方ないが保育士(民間)は給料安いし残業代は出ないし有休は取れないし、というところが多い。定時に上がれない上に家に持って帰ってまでしないとイケない。(26才女、保育士)
- ・このまま石原都政が続いて福祉が切り捨てられていたら、小さな保育園はつぶれてしまうかも(27才保育士)

<介護・障害者福祉関係>

- ・賞与なし。手取りが生活保護以下で一人暮らしができない。給与が少なく将来不安(男、介護職、派遣)
- ・経営が厳しく、続けられるか不安(26才介護福祉士)
- ・夜勤がある割には給料が安い(27才、障害者生活支援)

その他

- ・タクシー規制緩和のため生活が成り立たなくなり、闇金にまで手を出しているのが現状。また、地域コミュニティバスができて、仕事を減らされているのに対する不満はタクシードライバーはみな持っています。福祉名目で走らされているバスがタクシーの仕事を奪っているのです。(42才男、個人タクシー)
- ・バイトとしてファーストフード店で働いています。正社員1.2人に対し後はすべてアルバイト・パートタイマーと言うこの現状で、食品衛生を守っている、心得ているとは思えないのは私だけではないと思います。この日本の非正規雇用増加を本当に危惧しています(19才女、バイト)
- ・建築業界では、相変わらず職人や下請け業者への低賃金、請負金額の低下、作業環境の悪化が是正されずにいます。技能者への待遇、評価はいつまで改善されないのでしょうか(65才男、建設、契約社員)

若者の半数近くが「健康不安」

若者実態調査【健康編】

過労死、働きすぎによる病気が不安

- ・配偶者はほぼ毎日深夜帰宅。死んでしまう！と思ったこともある（27才、団体職員）
- ・働きすぎで突然死にならないか心配（34才、薬局事務）

慢性疲労

- ・働きすぎで慢性的に睡眠不足。疲労が取れない（32才）
- ・長時間労働が当たり前。慢性疲労。（32才女、バイト）
- ・平均睡眠4時間（27才男、美容師）

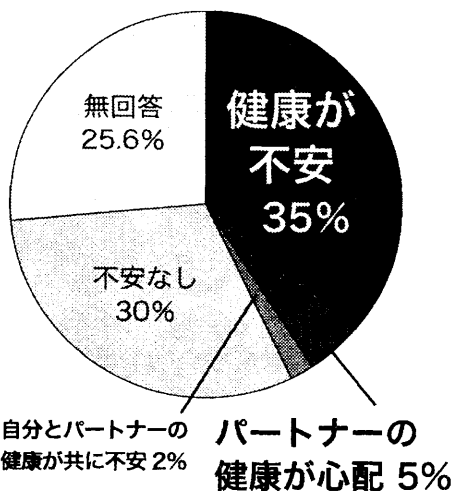
「働き過ぎで、うつ病になった」

- ・請負先から厳しすぎる要求はしょっちゅう→給与を減らす、降格させるなど請負先から言われるでも、私さえ我慢すれば部下には影響がない→結果、抑うつになり休職したが労災にならなかった（36才男、請負管理職）
- ・超過勤務でメンタルをやってしまった（31才、公務員）
- ・夫婦で、お互いここ数年で「うつ」や「不眠症」になり、通院を余儀なくしている。私たちの先輩も、真面目な人ほど「うつ」で退職や長期休養した方々もいる（29才女）

栄養が十分に取れない

- ・睡眠不足、ストレス、忙しくてまともに食事をする時間持てない（29才男、雑誌などの編集）
- ・外食するから栄養が取れていない（18才、派遣社員）

自分やパートナーの「健康が不安」が42%



職業病

- ・職種による腰痛。（患者様介護・介助、25才、正社員）
- ・座りっぱなしで腰痛が心配（21才男、WEBデザイン）
- ・看護師なので、勤務不規則、残業多い（38才、看護師）

「医療費が高くて病院にいけない」

- ・緑内障ですが、医療費が高くて最低限、薬をもらうときにしか行けません。この薬がなければ失明してしまい、どうしても必要なもの、それでもお金がなければ…（36才男、運輸関係、自営）
- ・子宮筋腫があるが、手術費が高くて除去できない（35才バイト）
- ・最近、体調が悪いが、お金がなくて、医者にかかれない（21才女、学生、接客業でバイト）

医療・年金の「保険料が払えない」

- ・10年間フリーターをしていて国民年金が高く、また将来不安から払わなかった。余裕のないフリーターや若者は現状のままでは払えないと思う。（30才男、小売）
- ・国民年金は、年金暮らしの親が負担しています。親は少ない年金から、月約14000円を子どものために払っています。老後の生活のための年金を、子どもの年金の支払いにあてるというのはおかしくないですか？（22才女）

「健康診断がない」

- ・成人病検診の援助を、胃カメラやX線検査は高すぎてできない。（33才女、ソフトウェアSE）
- ・十分な定期健診が受けられない（39才、非常勤講師）
- ・慢性疾患があるので、週一回通院している。検診にお金がかかる。女性がん検診を受けたい（26才、アルバイト）

その他

- ・母親が年金受給者。月5万では生活ができず、生活保護を受けている。私は、アルバイトをしながら高校へ通ったが、奨学金とアルバイト料だけでは学校は無理。授業料、お昼代、都心までの交通費等。高校は出たものの就職先が見つからず。引きこもり状態。専門学校に行きたいが、あきらめざるを得ない。将来自分に対して、自信を持てなくなった。わずから年金を期待するより、生活保護に頼ったほうが安心。母子家庭で育ったが、教育費までは親にその力はなかった。（26才男、飲食店、バイト）

子育てにお金がかかりすぎる！

若者実態調査【子育て編①】

「妊産婦検診、出産費が高い」「医療費が高い」

- ・現在、妊娠8ヶ月。検診代が高い。子どもはたくさんほしいが、支援金をもっと国が出してほしい (26才女)
- ・一番医療費がかかる、小学生までは医療費をただ(0円)にしてほしい。今、一番の願いです。(34才女、バイト)
- ・来月1歳になる娘は染色体異常があり7ヶ月半まで入院していました。乳(乳を○で囲む)があるのでミルク代の負担だけですみましたが、それでも結構な金額払っています。随伴症状は今後も何かしら出てきます。そのときに一体いくらかかるのか心配です。また普通の子ですら生きていくのが大変なのに。将来が心配。(30才、主婦)
- ・乳児医療年齢を引き上げて(小6まで) (36才、保育士)
- ・いかなる予防接種も国や自治体の負担によって定期接種化してほしい (30才男)
- ・不妊治療代がかかりすぎ。負担を減らして (33才)

「保育料が高い」「将来の高学費が心配」

- ・保育料が高い！給料の1割以上とられる。引越もできず、ポロアパートに2人ですんでいます。(33才女)
- ・市立幼稚園のお金が高いです。小学6年までに就き1万の補助金を出してほしいです。(27才、建築業)
- ・教育費で家計は火の車です。公立の学校に行っていますが、塾に行かないと成績がよくならないのはおかしいと思う。(40才女、事務でバイト)
- ・自分の収入で、子どもを学校例えば大学(私立)を子どもが望む場合、進学させてあげられるか不安。子どもは欲しいけど、思いとどまる原因です。(女性、看護師)

「母子家庭で生活が苦しい」

- ・離婚して、高校生と中学生の2人の子育て中ですが、高校2人重なると、学費が大変です。その後の進路を考えると、頭が痛いです。ボーナスもなく保障もなく児童手当も終わると生活全体不安だらけです。(43才女)
- ・母子家庭なので、子どもの医療費が18歳まで無料だと助かる。母子家庭の助成金(援助金)が安い。←もらえる権利(収入の幅)がせまい。(32才女、WEB関連、派遣社員)
- ・母子家庭で、将来不安。何年後かに母子家庭の補助がなくなるときのいた。とても困る。どうやっていきていけばいいのでしょうか？ (38才女・パート)

「子育てできる安定した仕事を」

- ・正規雇用をちゃんと増やして安心して女性も子どもが産めるような環境にしてほしい (24才男、警備バイト)
- ・正社員になって経済的に自立しないと子育ては考えられない。不安。(23才女、出版社でバイト)

「子どもはほしいがお金がない」

- ・稼がないので子どもができて育てられない。
- ・子どもはほしいが、自分たちの生活が激しすぎて、現実的には考えられない。(26才男、アルバイト)
- 「いまの収入じゃ、子育ても結婚もできない」
- ・私の給料で、主人は現状それ以下の給料。こんな給料では安心して子どもを産めない。もっと安心して子どもが産めるように働く妻をサポートする体制、出産中をサポートする体制を作ってください！私は社会保険にも入れてもらえないので、手当てももらえず困っている。(27才)
- ・来年結婚予定で、子どももほしい。しかし現状では、まだ私自身働かなくては、貯蓄も少なく、家庭を作れる、状態ではありません。しかも、婚約者も私も地方から上京していることもあり、頼れる人も少なく、東京で出産するにはとても不安です。(26才女、デザイナー、偽装請負)

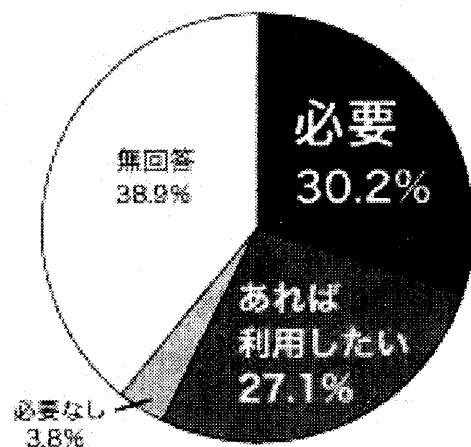
「子育て費用の援助を増やしてほしい」

- ・育児手当がつき1万に増えたが正直足りない。しかも3歳以降減る。3歳以降からお金かかると思うから、せめて小学卒業まで出ればいいと思います。(33才男、自営)
- ・子育て世帯に対する助成(金)を、子どもが18歳になるまでに継続的に重点的に行い、将来的にも子育てに安心感が持てるようにすべき (36才男、正社員)

「家が狭いが、広い家を借りるお金がない」

- ・「家賃補助制度」というのを初めて知りました。子どもが2人いるのである程度の広さ家が必要ですが、家賃が高くて困っています。(27才、建築業)
- ・子育てできる環境にない！！借家がせまい！！広いところに住めるだけの賃金を！！ (34才男、開発関係)

家賃補助は、「必要」「利用したい」が半数以上



「仕事と子育て両立できない！」

若者実態調査【子育て編②】

「子育てできる労働時間を」「残業なくして」

- ・夜勤しながら子どもが健全に育つのか？複数生みたいけど働かないと食べていけない (32才女、看護師)
 - ・妊娠が分かり、仕事をやめ出産した。出産後、再就職したが育児時間がとれずフルタイム勤務は辛い。働くママにもっと保障がほしい。子育ては本当に大変 (29才、事務)
 - ・核家族が多いから、母親の負担が大きい。子どもが小さいうちは父親の残業をなくすなど、国レベルで動いてほしい (31才、主婦)
 - ・とにかく長時間、過重労働で子育てに向き合えないのが悩み。教育について「戦時中!？」と思わせるような全政府の締め付けにますます教員の仕事がつまらなくなっています。(37才女、教諭)
 - ・シングルマザーで子育て中(小1)。正社員だけど仕事仕事で子どもとじっくり関われない (24才女)
 - ・正社員は本当に労働時間が長くて、子どもは持てないです。育休も、代替要員を入れてくれないので、周りがカバーしている状況です。(32才女、事務)
- 職場の人員が足りず毎日ほぼ残業。迎えが遅くなり月一土までフルに預けるので子どもも疲れるし接触が少ないのではと不安。でも職場の現状を考えるとずっと残業をしないと他の人に申し訳ない。夫の休日が週に1日にあかないかで多忙で、シングルマザー状態。(26才女、看護師)

「保育園を増やして」

- ・子どもを保育園に入れられない。待機児童が多い。病児保育がない。保育園に子どもを預けられればもう一人(3人目)育てるお金を稼げるのと思う (32才女、主婦)
- ・働きたいけど、保育園が、38人待ち！で、働けない。自分の子どもが大人になる頃の日本は、いったいどんな国になっているのか。不安 (31才女、主婦)
- ・保育園に上の子を預けています。下の子も同じ保育園に預けたいのですが確実ではないとのこと、2箇所は送迎が現実的ではないので不安です。(37才女、専門職)
- ・子育ての両立に苦心。両親が元気なので助かるが、民間ベビーシッターは急に頼めず不安。(39才、外資系銀行)
- ・子どもの一時保育が少ない。政治家の給料や補助を見直すことが先決だと思うが。無料のキッズルームを増やしてほしい。(38才女、フリーデザイナー)

「子どもが健全に育てる環境を」

- ・子どもが自由に危なくなく遊べる場所がない。遊園地ではなく自然とかを活かしたアスレチックがほしい。中学校にも学校給食を。(27才、バイト)
- ・いじめなど、子どもの教育が心配。(女性、バイト)

「産休、育休制度の充実を」

「子育てサポートを充実させて」

- ・産休制度をもっと充実させてほしい。(21才、バイト)
- 家庭支援サービスをもっと格安で利用したい。自給800円で働いて、ヘルパーの同金額を支払っても仕方ないけど、仕事を休むと生活ができない (33才女、SE)
- ・男性も育児に参加しやすい社会にしてほしい。育児休暇は未だにとりづらと思う。(30才男、小売)
- ・身内が近くにいないので、妊娠中の安静時には家事が一切できず、食べるものも苦労します。このようなときも支援はないのでしょうか。(26才女、児童福祉施設)

「病時休暇」など職場の理解と支援がほしい

- ・しょっちゅう熱を出すので、休みを言い出しづらい。(最大限保障してくれるが)。(26才女、看護師)
- ・子どもが熱等のとき預けられる看護師がいる施設があるとよい(何日も仕事を休まなければいけない)。(35才女、事務、バイト。第二子妊娠中)

「子育てにお金がかかる→

仕事しないといけない→

子育てと仕事の両立が難しい→

子どもはもてない」

- ・主人だけの給料では生活できないので私が子育てに入ったらどう生活していいかわからない。子育て中も会社を辞めなくてもいいくらいの会社の理解がほしい (30才事務)

「税金の使い方を福祉中心に！」

- ・公共事業にお金をかけすぎ。教育・福祉・医療にもっと使うべき (34才男、地方自治体、バイト)
- ・税金が高い→自由に使える金がない→遊ばない→恋人ができない→結婚できないとなっているので税金を安くしてほしい (30才、エレベーター保守)
- ・若い人が将来に希望を持てるような社会にしてください (39才女、正社員)
- ・公共事業よりも将来の子どものために金を使うべきだと思う。(24才男、監査)
- ・少子化対策というなら、子育てしやすい、社会体制を整えて北欧並みにしてほしい (25才女、保育士)
- ・共働きを支援するためといって保育所を増設しているがそれだけで人は子を産まない。まず政治の無駄遣いを直し、子育て・医療はお金。(37才女、看護師)
- ・子育ては、非常に大きな責任と同時に、経済的に負担がのしかかるものと認識しています。行政の更なるバックアップを是非お願いします。(30才、大学職員)

日本共産党の若者応援マニフェスト

若者実態調査でよせられた実態の解決や、要望に応じて、若者が安心して暮らせる社会を目指します。

現在)を解消すると約1700人の雇用がうまれます。こ

【雇用編】

●最低賃金を時給1000円以上に。

▽現在平均739円の最低賃金を、1000円以上に引きあげます。

▽全国一律最低賃金制にします。

●家賃補助を実施します。

▽ネットカフェ難民から抜け出すための家賃補助を行い若者向け低家賃の公共住宅を増やします。

▽たくわえがない若者でも、職業訓練をうけられるよう、訓練期間中の生活資金の援助をおこないます。

▽若い世代向け、ファミリー向けの公共住宅の建設や「借り上げ」住宅制度、家賃補助制度、生活資金貸与制度などを実現させるためにとりくみます。

●異常な長時間労働ストップ！

▽違法な「サービス残業」を根絶します。

▽残業時間の上限を法定するとともに、最低11時間連続の休息時間を確保する。

●偽装請負の根絶。

受け入れ企業の責任で直接雇用にさせます。

▽違法、脱法業者、会社に「懲罰的」措置をとります。

▽派遣、請負、契約社員にも、交通費が支給されるようにします。

▽短期・反復という使い捨て雇用契約をやめさせます。

●教育、福祉、医療、消防などの分野で、若者雇用をふやし、中小企業の若者雇用を支援するなど、計画的な若者雇用をすすめます。

▽自治体発注事業（公共工事、サービス・役務）での雇用がワーキングプアをつくらないように、適正な労働条件を確保します。

▽小中学校と都立高校の30人学級化をすすめると約1万1000人、保育園の待機児童8000人（2006年10月1日

の他、看護師や消防士、介護職員の正規雇用をふやします。

▽大企業につよく働きかけ、中小企業には助成をおこなうなど、民間での若者雇用を促進します。

●「ポケット労働法」の普及など、労働の権利を若者に普及を。

▽労働基準監督官の増員と相談窓口をふやします。

【健康編】

●健康保険や社会保険、年金に未加入の若者の実態を調査し、すべての若者が保障を受けられるような施策をすすめます。

【子育て編】

●子育てに"特別なお金がかからない"社会をめざします

▽妊婦健診や出産費用、子どもの医療費、保育料、幼稚園教育費、学校教育費など、お金の心配は悩みの種です。政府の調査でも、経済的支援を求める声は子育て世代の7割。この願いに全力でこたえます。

●妊娠・出産の費用と

中3まで医療費は無料にします

▽子どもの医療費無料化は、現在23区のほとんどで中学3年生までになってきています。しかし多摩26市では小・中学生の無料化にふみだしているところはありません。地域格差をなくし、東京中どこでも中学3年生まで無料にするため、国で小学校入学前まで所得制限なしで無料の制度をつくります。

▽いま国が、区市町村に対しおこなっている乳幼児医療費無料化への制裁措置（年9億円以上）は、ただちにやめさ

せませす。

▽妊婦健診（14回分）や出産にかかわる費用、さらに出産後の1ヵ月健診を無料にします。

▽高額な費用がかかる不妊治療への助成の拡充、保険適用にとりくみます。

●幼稚園・保育園の保護者負担を軽減します

▽幼稚園の9割をしめる私立幼稚園の保護者負担は、園への納付金だけでも月約3万6000円。自治体の負担軽減はあっても、まだまだ大変です。重い負担をへらすために、国として軽減の制度を拡充します。認可保育園についても2人目からの子どもを無料にするなど、高い保育料負担を軽減します。

●児童手当を18歳まで。 シングルマザーの手当て削減は中止を

▽現在、小学生終了までの児童手当を月1万円にして18歳まで引き上げます。

▽政府は児童扶養手当の削減をねらっています。「昼も夜も働いてなんとか生活している」というシングルマザーの命綱である児童扶養手当の削減は中止させ、支援を拡充します。生活保護の母子加算の廃止はやめ、元に戻します。

●小・中・高から大学、短大、専門学校 ——教育費の負担を大幅に軽減します

▽小・中学生の給食費や修学旅行など就学援助を拡充します。私学助成を拡充し、高校生の教育費負担を軽減します。

▽大学に入学し、4年間で卒業するまで必要なお金は1人1000万円。親からも学生からも「2人の大学生に仕送りでもとんでもない額が」「昼ご飯は一袋25円のパンの耳。夕食、朝食もカップやきそばとコーンフレーク」——こんな切実な声が寄せられています。

「学費は無料」が世界の流れ。学費をただちに引き下げ、返還義務のない奨学金制度を創設します。将来は無償化をめざします。